

活動紹介!

東久留米スマイル合唱団

本サークルが会館で活動を始めてから、12年になります。毎月第1・第3水曜の午前、30名程の会員が集まり、童謡、唱歌、ポピュラーソングなど、昔から歌い継がれている歌を指導の先生のピア/伴奏で歌います。

スマイル合唱団は、関東一円に支部組織があって、その一つがこのサークルです。毎年冬に、成果を発表するコンサートがあり、それに向けて楽しく練習に励んでいらっしゃいます。



9月の催しから

- 2(土) 
 - ぴゅあと〜んピア/発表会
- 3(日)
 - ・川田音楽教室発表会
 - ・ギタージョイントコンサート
- 9(土)
 - ・吉岡 駿ピア/リサイタル
 - ・Underground-13 生きろ(演劇)
- 10(日)
 - リーフ音楽教室ピア/発表会
- 23(土) 
 - 英語×音楽 ABC
- 24(日)
 - ドルフィンギター発表会
- 28(木) 
 - 稲門会・成美教育文化会館
共催映画会
- 30(土) 
 - 小美戸ピア/教室発表会

これらはあくまでも予定ですので変更もございます。一般の方の参加の可否等、詳細は主催者までお尋ねください。

会館事務室から



今月の話題ー ペロフスカイト

ペロフスカイトとは特殊な結晶構造をもつ素材です。今、これを使った新しい太陽光電池が目を集めています。その主な特徴は、①エネルギー変換効率が高いこと。②ペロフスカイトは比較的簡単に合成でき、従来の電池よりも製造コストが低くなる可能性があること。③柔軟性があり軽量であるため応用範囲が広いこと。などです。③について言えば、窓ガラスや屋根材に組み込むことで、建物全体で発電することも可能になります。乗り物の外面に使えば、動力エネルギーとすることもできる夢のような素材です。

2012年、日本の研究者が、ペロフスカイト電池の変換効率を大幅に高める画期的な方法を発表し、世界の研究者に大きな影響を与えました。ただ、湿度、熱、酸素などの外部の条件変化に対する安定性や耐久性、製造過程の最適化など乗り越える課題も数多く残されています。いずれこうした課題が解決されれば、再生可能なエネルギーの供給に画期的な役割を果たすことになるでしょう。



この夏は、連日の「危険な暑さ」で気象の異常さを改めて思い知らされました。原因とされるCO₂削減の切り札の一つ、太陽光発電。日本には、その応用技術の開発や実用化のフロンティアとしての役割を大いに期待したいものです。